



図 トビイロウンカ各世代の発生予測(第4版、2023年8月28日作成)

1. 6月30日～7月3日頃(図では7月1日)、7月7日～9日(図では7月8日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(8月28日以降は平年値)を基に作成した。その結果、第4版は第3版に比べ、各飛来虫のその後の発生時期(予測)は1日早くなった。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。